



令和3年(2021年)第47週 2021年11月22日(月)~2021年11月28日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報

厚生労働省
「インフルエンザ
(総合ページ)」



●インフルエンザに注意しましょう

2021年11月28日現在、熊本県内のインフルエンザの定点医療機関からの報告はゼロで全国的にもまだ流行はみられません。一方、海外では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が継続しているところがあります。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時に流行した場合も踏まえ、引き続き感染対策の実施をお願いします。

◆インフルエンザの症状について

典型的なインフルエンザの症状は、インフルエンザウイルスに感染してから1~3日ほどで、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然あらわれた後、咳、鼻水などの上気道炎症状があらわれ、約1週間ほどで軽快します。



◆感染対策は?

- ①流行前のワクチン接種
- ②外出後の手洗い等
- ③適度な湿度の保持
- ④十分な休養とバランスの取れた栄養摂取
- ⑤人混みや繁華街への外出を控える



★咳エチケットを心掛けましょう★

- ・患者の咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染が主な感染経路です。飛沫対策でインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。普段から皆が咳エチケットを心がけましょう。
- ・咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。とっさの咳やくしゃみの際にマスクがない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他の人に向けないようにしましょう。
- ・ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染もあります。鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。特に感染者がマスク等の感染対策を行う事が重要です。

【登校について】学校保健安全法における取り扱いでは、原則として、発症したあと5日経過し、かつ解熱したあと2日(幼児は3日)を経過するまで出席停止とされています。(ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。)

期 間		2021年 46週		2021年 47週	
		11/15~11/21		11/22~11/28(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	15	0.94	10	0.63
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	3	0.19	4	0.25
感染性胃腸炎	➡	96	6.00	111	6.94
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	1	0.06
手足口病	⚠ 警報レベル	90	5.63	42	2.63
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	2	0.13
突発性発しん	➡	9	0.56	13	0.81
ヘルパンギーナ	➡	8	0.50	7	0.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	2	0.40	5	1.00
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00